



医学部教育研究棟
13階第5セミナー室

医学共通講義Ⅱ 受容体とシグナル伝達入門 2011 冬学期・火曜日・3限

中村元直 (10月4日、11日)

- ・受容体概論 (Gタンパク質共役型受容体を中心に)
- ・Gタンパク質共役型受容体研究の新展開

進藤英雄 (10月18日)

- ・生体膜代謝酵素、リゾリン脂質アシル基転移酵素

北芳博 (10月25日)

- ・生理活性脂質の分析法 (質量分析計を用いた一斉定量法の開発・他)

柳田圭介 (11月1日)

- ・受容体生理機能解析; 生理活性脂質受容体遺伝子破壊マウスの解析

栗原由紀子 (11月8日、15日)

- ・発生工学を用いた形態形成機構の解析
- ・形態形成における分子メカニズム

門脇孝 (11月22日)

- ・糖尿病とシグナル伝達

阿部啓子 (11月29日)

- ・味覚シグナリングの分子論的解析から食品学の新領域を拓く

一條秀憲 (12月6日)

- ・細胞が物理化学的ストレスを感じる仕組みと疾患

朴貞河 (12月20日)

- ・足場シグナルによる細胞周期制御

岡部隆義 (1月10日)

- ・低分子化合物による受容体シグナル伝達の制御

加藤茂明 (1月17日)

- ・タンパク翻訳後修飾による転写制御の分子機構

岡山博人 (1月24日)

- ・遺伝子組換え実験規則について

